Press Release

CRÉDIT AGRICOLE
LIFE INSURANCE
クレディ・アグリコル生命

2023年2月10日
クレディ・アグリコル生命保険株式会社

2022年度第3四半期報告

2022年度第3四半期決算サマリー

2022年度第3四半期は、財務基盤強化のため10億円の劣後特約付借入金を調達致しました。その結果、ソルベンシー・マージン比率は539.5%となりました。また、保有契約高は対前年度末比、個人年金保険が81.1%、団体保険が115.2%、新契約高は対前年同期比、個人年金保険が9.6%、団体保険が94.0%となりました。主要業績については以下のとおりです。

（単位：百万円）

主要業績指標			2022年度第3四半期
契約高	個人年金保険	保有契約高	229,462
		新契約高	1,706
	団体保険	保有契約高	13,660,702
		新契約高	2,248,822
保険料等収入			34,093
保険金等支払金			65,607
四半期純利益			1,077
総資産			251,175
基礎利益			8,789
ソルベンシー・マージン比率			539.5%

クレディ・アグリコル生命（代表取締役兼CEO ﾆｺﾗ･ｿｳﾞｧｰﾁﾞｭ）の2022年度第3四半期（2022年4月１日～2022年12月31日）の業績は添付のとおりです。

＜目　次＞

１．	主要業績	……１頁
２．	資産運用の実績（一般勘定）	……３頁
３．	四半期貸借対照表	……６頁
４．	四半期損益計算書	……８頁
５．	経常利益等の明細（基礎利益）	……10頁
６．	ソルベンシー・マージン比率	……11頁
７．	特別勘定の状況	……12頁
８．	保険会社及びその子会社等の状況	……12頁

以　上

クレディ・アグリコル生命について

2007年に設立されたクレディ・アグリコル生命は、日本におけるバンカシュアランス（銀行窓口における生命保険販売）の専門会社として、お客さまのニーズにお応えする商品・サービスを提供しています。クレディ・アグリコル・グループは、47か国で事業を展開し、総資産約2兆3,236億ユーロ（306兆円）*を有する世界有数の総合金融グループです。保険事業に関しては、フランス最大の保険会社であるクレディ・アグリコル・アシュアランスが、1986年にフランス初のバンカシュアランス専門の生命保険会社を設立し、欧州におけるバンカシュアランスのリーディングポジションを確立いたしました。

＊　数値は2021年12月末現在。円換算額は1ユーロ=132.01円で円算出。

本リリースに関する問合せ先

クレディ・アグリコル生命保険株式会社　広報担当

JPN-CAL-kouhou@ca-life.jp

１．主要業績

（１）保有契約高及び新契約高

・保有契約高

（単位：件、百万円、％）

区　　分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末			
	件　数	金　額	件　数		金　額	
				前年度末比		前年度末比
個人保険	－	－	－	－	－	－
個人年金保険	59,554	283,002	51,029	85.7	229,462	81.1
団体保険	－	11,854,146	－	－	13,660,702	115.2
団体年金保険	－	－	－	－	－	－

（注）　個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資（変額個人年金保険については保険料積立金、据置期間付年金契約等については責任準備金）と、年金支払開始後契約の責任準備金の合計です。

・新契約高

（単位：件、百万円、％）

区　　分	2021年度 第3四半期累計期間				2022年度 第3四半期累計期間					
	件　数	金　額			件　数		金　額			
			新契約	転換による純増加		前年同期比		前年同期比	新契約	転換による純増加
個人保険	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
個人年金保険	3,143	17,841	17,841	－	320	10.2	1,706	9.6	1,706	－
団体保険	－	2,391,409	2,391,409	－	－	－	2,248,822	94.0	2,248,822	－
団体年金保険	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）　個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資です（変額個人年金保険については、基本保険金額）。

（２）年換算保険料

・保有契約

（単位：百万円、％）

区　　分		2021年度末	2022年度 第3四半期会計期間末	
				前年度末比
個人保険		－	－	－
個人年金保険		24,963	20,902	83.7
合計		24,963	20,902	83.7
	うち医療保障・生前給付保障等	－	－	－

・新契約

（単位：百万円、％）

区　　分		2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間	
				前年同期比
個人保険		－	－	－
個人年金保険		1,896	277	14.6
合計		1,896	277	14.6
	うち医療保障・生前給付保障等	－	－	－

（注）　年換算保険料とは、１回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、１年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

２．資産運用の実績（一般勘定）

（１）資産の構成

（単位：百万円、％）

区　　分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	金　額	占　率	金　額	占　率
現預金・ｺｰﾙﾛｰﾝ	22,688	34.3	36,212	47.9
買現先勘定	－	－	－	－
債券貸借取引支払保証金	－	－	－	－
買入金銭債権	－	－	－	－
商品有価証券	－	－	－	－
金銭の信託	30,930	46.8	28,807	38.1
有価証券	1,682	2.5	763	1.0
公社債	－	－	－	－
株式	－	－	－	－
外国証券	1,682	2.5	763	1.0
公社債	1,327	2.0	566	0.7
株式等	355	0.5	197	0.3
その他の証券	－	－	－	－
貸付金	－	－	－	－
不動産	13	0.0	20	0.0
繰延税金資産	2,371	3.6	2,664	3.5
その他	8,449	12.8	7,210	9.5
貸倒引当金	－	－	－	－
合計	66,134	100.0	75,679	100.0
うち外貨建資産	9,601	14.5	6,774	9.0

（注）不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

（２）有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外）

（単位：百万円）

区　分	2021年度末					2022年度 第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差損益			帳簿価額	時価	差損益		
				差益	差損				差益	差損
満期保有目的の債券	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
責任準備金対応債券	1,327	1,349	22	29	7	566	558	△ 7	2	10
子会社・関連会社株式	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他有価証券	355	355	－	－	－	197	197	－	－	－
公社債	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
株式	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
外国証券	355	355	－	－	－	197	197	－	－	－
公社債	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
株式等	355	355	－	－	－	197	197	－	－	－
その他の証券	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
買入金銭債権	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
譲渡性預金	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
合計	1,682	1,704	22	29	7	763	755	△ 7	2	10
公社債	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
株式	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
外国証券	1,682	1,704	22	29	7	763	755	△ 7	2	10
公社債	1,327	1,349	22	29	7	566	558	△ 7	2	10
株式等	355	355	－	－	－	197	197	－	－	－
その他の証券	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
買入金銭債権	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
譲渡性預金	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）　本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでおります。

市場価格のない株式等および組合等の帳簿価額については、該当する有価証券を保有していないため、記載しておりません。

（３）金銭の信託の時価情報

（単位：百万円）

区　分	2021年度末					2022年度 第3四半期会計期間末				
	貸借対照表計上額	時価	差損益			四半期貸借対照表計上額	時価	差損益		
				差益	差損				差益	差損
金銭の信託	30,930	30,930	△ 687	738	1,426	28,807	28,807	△ 1,639	1,712	3,351

（注）　差損益には当期の損益に含まれた評価損益を記載しております。

・運用目的の金銭の信託

（単位：百万円）

区　分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	四半期貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
運用目的の金銭の信託	30,930	△ 687	28,807	△ 1,639

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託

該当項目がないため、記載しておりません。

３．四半期貸借対照表

（単位：百万円）

期別 / 科目	2021年度末 要約貸借対照表 (2022年3月31日現在) 金額	2022年度 第3四半期会計期間末 (2022年12月31日現在) 金額	期別 / 科目	2021年度末 要約貸借対照表 (2022年3月31日現在) 金額	2022年度 第3四半期会計期間末 (2022年12月31日現在) 金額
（資産の部）			（負債の部）		
現金及び預貯金	25,583	39,025	保険契約準備金	252,918	204,774
金銭の信託	30,930	28,807	支払備金	3,276	4,058
有価証券	233,619	173,934	責任準備金	248,537	196,722
（うち　外国証券　）	（ 206,490）	（ 147,591）	契約者配当準備金	1,103	3,992
（うち　その他の証券）	（ 27,129）	（ 26,343）	代理店借	50	76
有形固定資産	37	51	再保険借	34,032	32,379
無形固定資産	838	821	その他負債	1,860	2,830
再保険貸	3,923	5,459	未払法人税等	400	399
その他資産	1,585	410	その他の負債	1,460	2,431
繰延税金資産	2,371	2,664	退職給付引当金	5	5
			価格変動準備金	159	167
			負債の部 合計	289,026	240,233
			（純資産の部）		
			資本金	5,725	5,725
			資本剰余金	5,275	5,275
			資本準備金	5,275	5,275
			利益剰余金	△ 1,136	△ 58
			その他利益剰余金	△ 1,136	△ 58
			繰越利益剰余金	△ 1,136	△ 58
			株主資本合計	9,863	10,941
			純資産の部 合計	9,863	10,941
資産の部 合計	298,890	251,175	負債及び純資産の部 合計	298,890	251,175

注記事項

（四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係）

2022年度第3四半期会計期間末

1. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

イ．当期首現在高	1,103 百万円
ロ．当第 3 四半期累計期間契約者配当金支払額	3,195 百万円
ハ．契約者配当準備金繰入額	6,084 百万円
ニ．当第 3 四半期会計期間末現在高	3,992 百万円

2. 株主資本の金額の著しい変動

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計
当期首残高	5,725	5,275	△ 1,136	9,863
当第 3 四半期会計期間末までの変動額				
四半期純利益	―	―	1,077	1,077
当第 3 四半期会計期間末までの変動額合計	―	―	1,077	1,077
当第 3 四半期会計期間末残高	5,725	5,275	△ 58	10,941

3. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

４．四半期損益計算書

（単位：百万円）

期別 / 科目	2021年度 第3四半期累計期間 (2021年4月1日から 2021年12月31日まで) 金額	2022年度 第3四半期累計期間 (2022年4月1日から 2022年12月31日まで) 金額
経常収益	**50,807**	**85,950**
保険料等収入	43,685	34,093
（うち 保険料）	（36,570）	（24,408）
（うち 再保険収入）	（7,115）	（9,685）
資産運用収益	5,182	37
（うち 利息及び配当金等収入）	（40）	（27）
（うち 金銭の信託運用益）	（67）	（－）
（うち 有価証券売却益）	（16）	（5）
（うち 有価証券償還益）	（1）	（－）
（うち 金融派生商品収益）	（－）	（3）
（うち 特別勘定資産運用益）	（5,055）	（－）
その他経常収益	1,940	51,819
経常費用	**45,417**	**78,342**
保険金等支払金	41,407	65,607
（うち 保険金）	（3,235）	（4,066）
（うち 年金）	（79）	（85）
（うち 給付金）	（6,819）	（8,897）
（うち 解約返戻金）	（16,165）	（41,206）
（うち その他返戻金）	（59）	（9）
（うち 再保険料）	（15,047）	（11,340）
責任準備金等繰入額	－	781
支払備金繰入額	－	781
資産運用費用	41	8,042
（うち 支払利息）	（0）	（14）
（うち 金銭の信託運用損）	（－）	（1,515）
（うち 有価証券売却損）	（－）	（13）
（うち 金融派生商品費用）	（1）	（－）
（うち 為替差損）	（39）	（151）
（うち 特別勘定資産運用損）	（－）	（6,348）
事業費	3,493	3,677
その他経常費用	474	232
経常利益	**5,390**	**7,608**
特別損失	**10**	**8**
価格変動準備金繰入額	10	8
契約者配当準備金繰入額	4,435	6,084
税引前四半期純利益	**945**	**1,515**
法人税及び住民税	506	731
法人税等調整額	△ 229	△ 293
法人税等合計	**276**	**437**
四半期純利益	**668**	**1,077**

注記事項

（四半期損益計算書関係）

2022年度第3四半期累計期間
1. １株当たり四半期純利益は 9,413 円 27 銭、なお、潜在株式が無いため、潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は算出しておりません。 2. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

５．経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

		2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間
基礎利益	A	6,443	8,789
キャピタル収益		96	1,539
金銭の信託運用益		67	－
売買目的有価証券運用益		－	－
有価証券売却益		16	5
金融派生商品収益		－	3
為替差益		－	－
その他キャピタル収益		11	1,530
キャピタル費用		75	1,540
金銭の信託運用損		－	1,515
売買目的有価証券運用損		－	－
有価証券売却損		－	13
有価証券評価損		－	－
金融派生商品費用		1	－
為替差損		39	151
その他キャピタル費用		33	△ 139
キャピタル損益	B	20	△ 0
キャピタル損益含み基礎利益	A＋B	6,464	8,788
臨時収益		－	－
再保険収入		－	－
危険準備金戻入額		－	－
個別貸倒引当金戻入額		－	－
その他臨時収益		－	－
臨時費用		1,073	1,180
再保険料		－	－
危険準備金繰入額		1,073	1,180
個別貸倒引当金繰入額		－	－
特定海外債権引当勘定繰入額		－	－
貸付金償却		－	－
その他臨時費用		－	－
臨時損益	C	△ 1,073	△ 1,180
経常利益	A＋B＋C	5,390	7,608

（参考）その他基礎収益等の内訳

（単位：百万円）

	2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間
基礎利益	22	△ 1,670
外貨建責任準備金繰入額に含まれる為替差損益に対応する外貨建資産の為替差損益	△ 33	△ 139
マーケット・ヴァリュー・アジャストメントの仕組みに起因する解約返戻金額変動の影響に相当する額	△ 11	△ 15
有価証券償還損益のうち為替変動部分に相当する額	0	－
資産留保型共同保険式再保険において発生する金銭の信託運用損益と連動する再保険に関する損益額	67	△ 1,515
その他キャピタル収益	11	1,530
マーケット・ヴァリュー・アジャストメントの仕組みに起因する解約返戻金額変動の影響に相当する額	11	15
資産留保型共同保険式再保険において発生する金銭の信託運用損益と連動する再保険に関する損益額	－	1,515
その他キャピタル費用	33	△ 139
外貨建責任準備金繰入額に含まれる為替差損益に対応する外貨建資産の為替差損益	△ 33	△ 139
有価証券償還損益のうち為替変動部分に相当する額	0	－
資産留保型共同保険式再保険において発生する金銭の信託運用損益と連動する再保険に関する損益額	67	－

(注)　2022 年度の開示から、有価証券償還損益のうち為替変動部分に相当する額および資産留保型共同保険式再保険において発生する金銭の信託運用損益と連動する再保険に関する損益額に関して、経常利益の内訳の開示方法を変更しております。2021 年度第 3 四半期の数字についても、変更後の取扱いに基づき再計算した値を開示しており、この結果、変更前と比べて、2021 年度第 3 四半期の基礎利益は 67 百万円増加し、キャピタル損益が 67 百万円減少しております。

６．ソルベンシー・マージン比率

（単位：百万円）

項　　目	2021年度末	2022年度 第3四半期会計期間末
ソルベンシー・マージン総額　　（Ａ）	19,099	22,221
資本金等	9,863	10,941
価格変動準備金	159	167
危険準備金	6,827	8,007
一般貸倒引当金	－	－
（その他有価証券評価差額金（税効果控除前）・繰延ヘッジ損益（税効果控除前））×９０％（マイナスの場合１００％）	－	－
土地の含み損益×８５％（マイナスの場合１００％）	－	－
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	1,248	1,104
負債性資本調達手段等	1,000	2,000
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	－	－
持込資本金等	－	－
控除項目	－	－
その他	－	－
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_8)^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4$　　（Ｂ）	7,023	8,236
保険リスク相当額　Ｒ1	4,187	4,932
第三分野保険の保険リスク相当額　Ｒ8	2,516	2,960
予定利率リスク相当額　Ｒ2	0	0
最低保証リスク相当額　Ｒ7	0	1
資産運用リスク相当額　Ｒ3	1,070	1,083
経営管理リスク相当額　Ｒ4	233	269
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{（A）}{（1／2）\times（B）}\times１００$	543.8%	539.5%

（注）１．上記は、保険業法施行規則第８６条、８７条及び平成８年大蔵省告示第５０号の規定に基づいて算出しております。
２．「最低保証リスク相当額　Ｒ７」は、標準的方式にて算出しております。

７．特別勘定の状況

（１）特別勘定資産残高の状況

（単位：百万円）

区　　分	2021年度末	2022年度 第3四半期会計期間末
個人変額保険	－	－
個人変額年金保険	235,968	176,013
団体年金保険	－	－
特別勘定計	235,968	176,013

（２）保有契約高

・個人変額保険

該当項目がないため、記載しておりません。

・個人変額年金保険

（単位：件、百万円）

区　　分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	件　数	金　額	件　数	金　額
個人変額年金保険	57,547	232,776	48,296	175,505
合計	57,547	232,776	48,296	175,505

８．保険会社及びその子会社等の状況

該当項目がないため、記載しておりません。